

2009年度RISE研究会プログラム

◎45分、○30分、ほか15分

2010年2月19日(金)

9:50-10:00	事務連絡
------------	------

座長: 並木 則行

◎	10:00-10:45	倉本 圭	月の分化と熱史
	10:45-11:00	荒木 博志	KAGUYA-LALTによる月地形探査; 運用結果とデータ処理の見通し
	11:00-11:15	田澤 誠一	かぐや搭載レーザ高度計(LALT)の運用報告
	11:15-11:30	横田 康弘	Studies of lunar surface roughness using SELENE Terrain Camera images and Laser Altimeter data
	11:30-11:45	松本 晃治	S帯同一ビームVLBIデータによる軌道・重力場の改良について
	11:45-12:00	Sander GOOSSENS	High resolution planetary gravity field models and regularisation: application to Kaguya-based models

12:00-13:00 昼食

座長: 大坪 俊通

	13:00-13:15	池田 人	JAXAにおける月重力場推定およびVLBIデータを用いた軌道決定について
	13:15-13:30	Jianguo YAN	Lunar gravity field based on Chang'E, SELENE and LP
	13:30-13:45	並木 則行	月裏側盆地の局所重力・地形相関
	13:45-14:00	石原 吉明	Moscoviense Basinは二重盆地か?
○	14:00-14:30	日置幸介	月の重力/地形の低次項と同期自転天体の静水圧平衡形状について
	14:30-14:45	鎌田 俊一	The thermal evolution of the lunar farside inferred from viscoelastic deformation of impact basins

14:45-15:00 休憩

座長: 佐々木 晶

○	15:00-15:30	大竹真紀子	「かぐや」分光データから推定する月高地地殻組成
	15:30-15:45	荒井 朋子	The Crater Copernicus revisited by Kaguya
	15:45-16:00	平田成	月大型クレーターの地質学
	16:00-16:15	久保 公央	かぐやマルチバンドイメージャが明らかにした湿りの海の層構造
	16:15-16:30	山本 聡	かぐや搭載スペクトルプロファイラによる月面全球カンラン石探査
	16:30-16:45	中村 良介	月マントルに起源を持つ斜方輝石の全球分布: マントル組成への制約
	16:45-17:00	小川佳子	月面ブライトレクレータに共通して見られる高カルシウム輝石の分布と月地殻組成への示唆

17:30-19:30 懇親会@コスモス会館食堂

2010年2月20日(土)

座長: 岩田 隆浩

	09:15-09:30	横田 康弘	Photometric correction of SELENE Spectral Profiler data
	09:30-09:45	中村 良介	溶岩流の流れ方向とセレノイドの関係
◎	09:45-10:30	玄田 英典	徹底比較! 月の起源
	10:30-10:45	花田 英夫	次期月探査計画での観測と開発計画
	10:45-11:00	野田 寛大	SELENE2 LLRの検討状況
	11:00-11:15	國森 裕生	LLR地上局の課題と光通信技術
	11:15-11:30	大坪 俊通	SELENE-2 LLR 光学応答シミュレーション
	11:30-11:45	片山 真人	LLR 往復時間など

11:45-13:00 昼食

座長: 野田 寛大

○	13:00-13:30	荒木 博志	かぐや及び次期月探査計画に基づく月回転の理解
	13:30-13:45	菊池 冬彦	SELENE-2 / iVLBIのミッション概要について
	13:45-14:00	岩田 隆浩	LLFASTと月面天文台のロードマップ
	14:00-14:15	石原 吉明	複数着陸機による火星内部構造探査計画
	14:15-14:30	岩田 隆浩	宇宙測地手法による火星回転変動計測
	14:30-15:00	総合討論	